

日本リハビリテーション医学会 平成 25 年度第 3 回理事会 議事録

日 時：平成 25 年 7 月 27 日(土) 12 時～16 時

場 所：都市センターホテル 706

構成員：理事 20 名，監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫・才藤栄一・出江紳一

理 事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博
生駒一憲・石合純夫・石川 誠・川平和美
佐浦隆一・白倉賢二・田島文博・芳賀信彦
正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

専門医会幹事長／近藤和泉

欠席者 理 事／上月正博・志波直人

議 題

I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から，平成 25 年度第 4 回業務執行理事会（Skype 会議）報告があった。

2) 会員現況報告

才藤副理事長から，会員現況について報告があった。

3) ISPRM 報告

才藤副理事長から，6 月に中国で開催された ISPRM について，水間理事長，才藤副理事長，出江副理事長が出席し，ISPRM におけるリハ医学会の存在を高めた旨報告があった。なお来年の開催が学術集会と重なっていることから，今後，開催時期について早めの情報が必要である旨補足があった。

4) 選挙管理委員の委嘱について（メール審議結果報告）

水間理事長から，役員会メール審議によって承認された代議員選挙管理委員について報告があった。

5) 50 回学術集会及び記念式典・祝賀会報告

水間理事長から，50 回学術集会及び記念式典・祝賀会について報告があった。学術集会参加者数は招待者も含め約 3,600 名であり，収支もほぼ予算通り実施できた旨説明があった。なお，最終の決算報告は 9 月の理事会で行う旨補足があった。

6) その他

① 日本脳科学関連学会連合

石合理事から，第 2 回評議員会の報告があった。評議員会の中で，各学会のホームページのリンクに脳科連を入れるよう要請があったことから，広報担当を通じてホームページにリンクをのせることとした。

② リハ関連団体協議会

水間理事長から，リハ関連団体協議会では現在部会が開かれており，来週協議会が開催されるので詳しい報告は次回理事会で行う旨報告があった。

③ 脳卒中対策立法化推進協議会

出江副理事長から，6 月に開催された同協議会の報告があった。今後脳卒中対策法案をまとめていく方向であること，協議会に患者団体も加わり，リハに対する要請が強いことから，当医学会としてもしっかりサポートしていく必要がある旨説明があった。

II. 審議事項

1) 役員候補者の選出並びに役員の選任に関する内規（案）について

椿原副理事長から，役員候補者の選出並びに役員の選任に関する内規改正案について説明があり，審議の結果，メールで意見を伺い，次回理事会で決定することとした。

2) 役員選挙日程案について

椿原副理事長から，平成 26 年度役員選挙日程案について説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

3) 代議員選挙日程について

椿原副理事長から，すでに承認されている代議員選挙日程について，開票日が病態別研修会と重なっていることから，投票日，開票日をそれぞれ 1 日繰り上げることについて説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

4) 50 周年記念事業報告及び今後の活動について

水間理事長から，50 周年記念事業企画案について説明があり，今後企画があれば提案していただき，協賛も含めて検討していくこととした。また来年度国際シンポジウムを計画しているとの補足が

あった。引き続き水間理事長から、設立 50 周年記念事業冠名使用許可事業実績について報告があった。

5) 新専門医制度について

水間理事長から、本日午前中に開催された専門医制度対策委員会について報告があり、今後この問題での会員等からの質問については、教育委員会の石合理事、正門理事と認定委員会の浅見理事田島理事の 4 名が窓口となることとした。

6) 指導医講習会に関する内規、申し合わせについて

会則検討委員会の上月理事が欠席のため、正門理事から、指導医講習会に関する内規案、指導医講習会の実施に関する申し合わせ案について説明があり、審議の結果指導医講習会に関する内規案の文言を一部修正し、承認された。

7) 利益相反への対応について

椿原副理事長から、利益相反の管理に関する申し合わせについて説明があり、審議の結果、利益相反に関する公開条件として資金援助に加えて、機器の貸与及び薬剤の提供を加えることとした。

8) 利益相反委員会委員の委嘱について

水間理事長から、利益相反委員の委嘱について説明があった。審議の結果、外部有識者については芝浦工業大学大倉典子教授に加えて、森田公認会計士事務所袖山裕行公認会計士を加えることとした。

9) システム委員会委員の委嘱について

水間理事長から、システム委員会委員の交代について説明があり、審議の結果、原案どおり笠井史人第 50 回学術集会幹事が退任し、新たに加賀谷斉第 51 回学術集会幹事に委嘱することが承認された。

10) 第 52 回学術集会幹事について

水間理事長から、第 52 回回学術集会幹事について説明があり、審議の結果、原案どおり辻哲也准教授に委嘱することが承認された。

11) コメディカルとの関連性について

水間理事長から、第 50 回学術集会においてコメディカルの学術集会参加の在り方について議論になった経緯が説明され、続いて才藤副理事長から、第 51 回学術集会ではコメディカルも参加できるような企画を検討している旨報告があり、承認された。また、関連専門職委員会においても検討するよう依頼があった。

12) 厚労省からのパブリックコメントについて

水間理事長から、厚労省からの診療の補助における特定行為(案)と指定研修における領域・行為群

(案)に対するパブリックコメントについて説明があり、意見があれば 8 月 2 日までに理事長に申し出てもらうこととし、学会としてコメントすることとした。

13) 会員の入退会について

才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。

14) 社会保険等委員会関係

石川理事及び水落理事から、厚労省医療技術評価ヒアリング、内保連及び外保連並びに社会保険等委員会について報告があり、承認された。

15) 資格認定委員会関係

①指導責任者の新規認定について

浅見理事から、指導責任者の新規認定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②指導責任者の資格更新について

浅見理事から、指導責任者の資格更新について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

③専門医・認定臨床医の資格更新について

浅見理事から、専門医・認定臨床医の資格更新について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16) 施設認定委員会

①研修施設の新規認定について

田島理事から、研修施設の新規認定について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

②研修施設の資格喪失について

田島理事から、研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

17) 産科医療補償制度について

朝貝理事から、産科医療補償制度について説明があり、この制度の内容を学会ホームページ、代議員メーリングリスト、小児 SIG などを通じて広報することが承認された。

18) 専認構アンケートについて

浅見理事から、専認構からきているアンケートの回答について説明があり、意見がある場合は 7 月 29 日朝までに浅見理事宛てに連絡し、回答することとした。

19) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。

20) 2-f 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。

21) 年次学術集会における教育研修単位について

正門理事から、年次学術集会における教育研修単位について説明があり、審議の結果、提案のとおりランチョンセミナー、モーニングセミナーなどの単位申請は主催者の判断で行えることとし、専門医会学術集会から適用することとした。

22) 一般医家に役立つリハビリ医療研修会について

正門理事から、一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会の地方開催案について説明があり、審議の結果、主催はリハビリ医学会とし単位は認めないこととした。

23) がん診療ガイドラインへの参加について

生駒理事から、説明があり審議の結果、一般社団法人日本癌治療学会診療ガイドライン jsco-cpg.jp に参加することとした。

参加が承認された場合は、領域担当委員（辻哲也）、協力委員（田沼明、鶴川俊洋、宮越浩一）、評価委員（生駒一憲）の委員構成とすることとした。

24) その他

① 後援・協賛について

才藤副理事長から、説明があり審議の結果、日本慢性期医療協会・アジア慢性期医療協会からの後援依頼については当医学会の趣旨と合わないため後援を見送ることとし、その他は後援・協賛することとした。

Ⅲ. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 25 年 4 月 24 日から 7 月 19 日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 評価・用語委員会 | 水間理事長（志波理事欠席のため） |
| ③ 教育委員会 | 正門理事、石合理事 |
| ④ 「資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |
| ⑥ 障害保健福祉委員会 | 水落理事 |
| ⑦ 関連機器委員会 | 朝貝理事 |
| ⑧ 関連専門職委員会 | 朝貝理事 |
| ⑨ 広報委員会 | 安保理事 |
| ⑩ システム委員会 | 赤居理事 |

2) 専門医会報告

近藤専門医会幹事長から、専門医会の活動につい

て報告があった。

3) IDC-11 報告（評価・用語委員会）

本日欠席の志波理事に代わって、水間理事長から報告があった。

4) 2-g 項目による生涯教育研修単位の申請について
正門理事から、報告があった。この報告は今後、事後で良いので紙ベースで理事会に報告することとし、報告書には講演者の肩書を加えることとした。

5) 病態別実践リハビリ医学研修会

正門理事から、平成 26 年 2 月 15 日に開催される研修会について報告があった。

6) 初期研修医等医師向けリハビリ研修会

石合理事から、7 月 6 日に開催された研修会の報告があった。この研修会用に各研修施設が作成した紹介ポスターの扱いについては、今後検討していくこととした。

7) 指導医制度変更に伴う対応について

浅見理事から、指導医制度変更に伴う対応について報告があった。

8) RJN 世話人会報告

浅見理事から、RJN 世話人会の活動について報告があった。

9) 「平成 25 年度 医学生、研修医等をサポートするための会」の開催について

浅見理事から、日本医学会からの補助によって実施する医学生、研修医等をサポートするための会の実施について報告があった。

10) 平成 25 年度後期各種委員会委員の委嘱・退任について

才藤副理事長から、後期委員の推薦について依頼があった。この際、なるべく委員を兼職しないこと、人材のストックへの協力について補足があった。

11) 医療心理士国家資格制度推進協議会担当委員について

朝貝理事から、参加を決定した医療心理士国家資格制度推進協議会の担当委員として、朝貝理事と武居光雄先生が担当する旨の報告があり了承された。

12) その他

(1) 平成 26 年度各種委員会活動計画及び予算について
出江副理事長から、平成 26 年度予算編成スケジュールについて説明があり、例年より早い時期に活動計画等の提出を求める旨の説明があった。

(2) 八重洲倶楽部会議室改修について

才藤副理事長から、八重洲倶楽部が今年 10 月か

ら来年6月まで改修工事により閉鎖するため、他の会議室を探す必要がある旨報告があった。

(3)その他

- ① 木村監事から、ポトックスの市販後調査(治験)が求められており、学会として受けるかどうか、次回理事会までに、研究内容、費用など具体的内容について提案したい旨報告があった。

② 50周年キャッチフレーズについて

浅見理事から、50周年キャッチフレーズが目に見えてこないもので、ホームページなどで目立つ工夫を強いたらどうかとの提案があり、広報委員会で検討することとした。

以上

日本リハビリテーション医学会 平成25年度第4回理事会 議事録

日時：平成25年9月7日(土) 12時～16時

場所：都市センターホテル 706

構成員：理事20名、監事3名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／才藤栄一・出江紳一

理事／赤居正美・浅見豊子・生駒一憲・石合純夫

石川 誠・川平和美・上月正博・佐浦隆一

志波直人・白倉賢二・芳賀信彦・正門由久

水落和也

監事／木村彰男・久保俊一・住田幹男

専門医会幹事長／近藤和泉

欠席者 副理事長／椿原彰夫

理事／朝貝芳美・安保雅博・田島文博

議題

I. 報告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成25年度第5回業務執行理事会(Skype会議)の報告があった。

2) 会員現況報告

才藤副理事長から、会員現況について報告があった。

3) その他

①リハビリテーション医療関連団体協議会

水間理事長から、7月30日に開催されたりハ関連団体協議会について報告があった。また、この協議会の人材育成部会に関連専門職委員会からも代表を出すため朝貝理事と協議していく旨提案があり、了承された。

②日本医学会臨床部会

水間理事長から、8月23日に開催された日本医学会臨床部会について、日本医学会の法人化に向け

て検討を進めているが、日本医師会の公益法人化との関連で、法人化を1年先送りすることが議論された旨報告があった。なお、本部会の資料はリハ医学会事務局にあるので、必要があれば閲覧を申し出てほしい旨補足があった。

II. 重要審議事項

1) 50回学術集会会計報告

水間理事長から、第50回学術集会の仮決算について説明があり、審議の結果、会費を増額した経緯から決算で学術集会と記念式典の会計を別様で示し明確にすることの意見が出され、これらの点を踏まえて11月の役員会に正式に報告することとした。

2) 新専門医制度について

水間理事長から、専門医研修プログラム作成要領及びリハビリテーション科専門医の定義についてのメール審議の結果について説明があった。引き続き石合理事から、説明があり審議の結果、研修プログラム作成要領及び定義について、再度整理したうえで週明けにメール審議を行い、9月中には代表指導責任者を通じて専門医研修プログラムの公募を行うこととした。

III. 審議事項

1) 平成25年度後期各種委員会委員の委嘱について

水間理事長から、各種委員会委員の委嘱・退任について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2) 診療ガイドライン委員会策定委員会委員の任用に関する提案

生駒理事から、診療ガイドライン委員会策定委員会委員の任期の扱いについて提案があり、策定委員

会をプロジェクト形式とすること、および、策定委員長はガイドライン完成後も診療ガイドライン委員会に残留することが了承されたが、その人事上の位置付け等については再度検討することとなった。

3) 代議員選挙関係

①第1回代議員選挙管理委員会報告

芳賀理事から、第1回代議員選挙管理委員会について報告があった。また、今年度の代議員選挙からWebによる投票が原則となるため、選挙システムの構築について2社から見積りの提案を受けたが、専門医会幹事選挙で実績があり安価な提案を行ったダイナコムに依頼したい旨提案があり、審議の結果、承認された。

②代議員選挙に関する規則（改正案）について

水間理事長及び芳賀理事から、今年度の代議員総会で改正した代議員選挙に関する規則について、第8条第2項（立候補の辞退）の削除及び内閣府からの指導によって第14条第3項（無投票当選）の規定を削除する旨の提案があり、審議の結果、原案どおり承認し、会則検討委員会に検討を依頼することとした。なお、この規則改正（案）は来年度代議員総会で承認を得ることとした。

③代議員選挙に関する内規（改正案）について

水間理事長及び芳賀理事から、代議員選挙に関する内規改正案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認し、会則検討委員会に検討を依頼することとした。

④代議員選挙日程の追加について

水間理事長から、代議員選挙日程の追加について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4) 国際シンポジウムの開催について

水間理事長から、来年度、学術集会とISPRMが重なったこと及び2019年にISPRMを日本に招致する計画があることから、50周年関連事業として国際シンポジウムを開催する旨の説明に引き続き、才藤副理事長から、国際シンポジウムの具体的な計画について説明があり、審議の結果、実行委員長に安保理事を選出し、2014年4月19日（土）に慈恵会医科大学を会場に開催することが承認された。

5) 第51回学術集会について

才藤第51回学術集會会長から、第51回学術集會におけるチームDay企画、特に特別並行セッションの企画及び参加費について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6) 役員候補者の選出並びに役員の選任に関する内規（案）について

（メール審議結果報告及び会則検討）

水間理事長から、本改正案についてはメール審議の結果承認された旨の報告に引き続き、上月理事から、会則検討委員会での検討結果について説明があり、審議の結果、第3条の「選挙権を有する」の次に「者」を挿入し、その他は原案どおり承認された。

7) 利益相反の管理に関する申し合わせ（改正案）について

（メール審議結果報告及び会則検討）

水間理事長から、本改正案についてはメール審議の結果承認された旨の報告に引き続き、上月理事から、会則検討委員会での検討結果について説明があり、審議の結果、4.の条文中「開催者」を「担当責任者」に修正のうえ原案どおり承認された。

8) 市販後調査の扱いについて

木村監事から、グラクソ・ミスクライン(株)からボトックス調査のアドバイザーの依頼があり、リハ医学会で受けることについて提案があった。本件に関連して事務局から、リハ医学会が受託研究を受けることについて、現在のリハ医学会の事業目的からは受託研究を受けることが困難であるとの内閣府の見解について説明があり、審議の結果、リハ医学会が収益事業を行うかどうかについて今後の検討課題とすることとし、今回の市販後調査は木村監事のもとで実施してもらうこととした。

9) 医師以外の正会員入会について

上月理事から、見木太郎氏及び土井篤氏の入会について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

10) 平成25年度海外研修助成・追加分（助成対象者）案について

佐浦理事から、平成25年度海外研修助成追加募集を行い、千田護氏を候補者とした旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、年々応募者が減少しており、国際委員会で原因を検討中である旨補足があった。

11) 平成26年度海外研修助成・特別助成（第4回AOCPRM）の募集について

佐浦理事から、平成26年度海外助成及び特別助成の募集について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 12) 会員の入退会について
才藤副理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。
- 13) 社会保険等委員会関係
石川理事及び水落理事から、厚労省医療技術評価ヒアリング、外保連並びにがんのリハビリテーション研修会について報告があり、承認された。
- 14) 資格認定委員会関係
①指導責任者の資格更新について
浅見理事から、指導責任者の資格更新について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
②専門医・認定臨床医の資格更新について
浅見理事から、専門医・認定臨床医の資格更新について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 15) RJN 世話人会規則(案)について
浅見理事から、RJN 世話人会規則(案)について説明があり、審議の結果、専門医会幹事長の扱いを含めて再度検討し提案することとした。
- 16) 平成 25 年度専門医試験特別委員候補(案)について
白倉理事から、平成 25 年度専門医試験特別委員候補について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 17) 2-e 項目による生涯教育単位の申請について
正門理事から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。
- 18) 2-f (初回) 項目による生涯教育単位の申請について
正門理事から、説明があり審議の結果、本申請は現行規定では 2-f ではなく 2-g とすべきであるとの指摘があり、再度 2-g 項目として審査することとした。
- 19) その他
(1) 後援・協賛について
才藤副理事長から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。
(2) 第 53 回学術集会について
久保第 53 回学術集會会長から、第 53 回学術集會を 2016 年 6 月 9 日から 11 日にかけて国立京都国際会館で開催したい旨説明があり、審議の結果、承認された。
(3) 事務局長人事について
水間理事長から、9 月 30 日付けをもって白井事務局長が退職し、10 月 1 日付けで後任に松澤事務

局長が昇格する旨説明があり、承認された。

(4) その他

- ①水間理事長から、専門医資格更新の際に専門医会学術集會を受講しなくては更新できない会員が多くいることから、該当者に注意喚起を行うことについて説明があり、審議の結果、承認された。
②事務局から、平成 26 年 4 月に予定されている消費税増税に対応するため、学会誌の定価を通常号 1,900 円(現行 1,800 円) 特別号 3,100 円(現行 3,000 円)などに改定したい旨説明があり、審議の結果、承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 25 年 8 月 2 日から 8 月 30 日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|---------------|-----------|
| ① 編集委員会 | 川平理事 |
| ② 教育委員会 | 正門理事、石合理事 |
| ③ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |
| ④ 国際委員会 | 佐浦理事 |

2) 専門医会報告

石合理事から、第 8 回専門医会学術集會について報告があった。引き続き、近藤専門医会幹事長から、専門医会では専門医会の在り方について検討している旨の報告があった。

3) RJN 報告

浅見理事から、平成 25 年度医学生、研修医等をサポートするための会の RJN 企画及び女性医師データについて報告があった。

4) 英文 HP について

佐浦理事から、英文 HP の内容について報告があった。

5) Web 版リハ用語辞典用語解説執筆について

志波理事から、Web 版リハ用語辞典へのアクセス変更について報告があった。アクセスが減少していることについて、今後広報委員会と連携して対応していく旨補足があった。

6) 2-g, 2-f (2 回目以降) 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、報告があった。

7) 2014 年度単位付与項目について

正門理事から、報告があった。

8) その他

①医師以外の会員の取扱いについて

水間理事長から、医師以外の正会員を増やす方策

を検討しており、次回理事会に提案する旨報告があった。

以上

日本リハビリテーション医学会 平成 25 年度第 5 回理事会 議事録

日 時：平成 25 年 11 月 16 日(土) 12 時～ 17 時

場 所：都市センターホテル スバル

構成員：理事 20 名、監事 3 名

出席者

理事長／水間正澄

副理事長／椿原彰夫

理 事／赤居正美・朝貝芳美・浅見豊子・安保雅博
生駒一憲・石合純夫・石川 誠・上月正博
佐浦隆一・志波直人・白倉賢二・田島文博
芳賀信彦・正門由久・水落和也

監 事／木村彰男・久保俊一

第 50 回学術集会幹事／川手信行

第 51 回学術集会幹事／加賀谷斉

欠席者 副理事長／才藤栄一・出江紳一

理事／川平和美

監事／住田幹男

専門医会幹事長・事務局幹事／近藤和泉

議 題

I. 報 告

1) 業務執行理事会報告

水間理事長から、平成 25 年度第 6 回業務執行理事会 (Skype 会議) の報告があった。このほか 11 月 5 日及び 11 月 9 日に中間決算に関する会議を行った旨、補足があった。

2) 会員現況報告

水間理事長から、会員現況について報告があった。

3) 代議員選挙について

芳賀理事から、代議員選挙の実施状況について報告があった。また、11 月 15 日現在で書面投票希望者が 12 名にとどまっている旨、補足があった。

4) その他

①リハビリテーション医療関連団体協議会

水間理事長から、リハ関連団体協議会の 4 つの部会のうち、グランドデザイン部会、地域包括ケア推進部会、人材育成部会の状況について報告があっ

た。診療報酬部会に関する報告は、審議事項 (14) 社会保険等委員会関係の項で報告願うこととした。

②災害リハビリテーションコーディネーター研修会について

水間理事長から、大規模災害リハビリテーションコーディネーター研修会の経緯について報告があった。これまでの過程で、旅費の取り扱いや看護師の扱いなど、当初の計画との変更が生じ混乱があったことから、次回協議会の中で経緯を整理し、今後の方針についても議論していきたい旨補足があった。

関連してフィリピンにおける災害に対してリハ医学会として寄附等の行為を行うかとの意見が出され、今回は個人レベルの対応とし、リハ医学会の対応については今後検討していくことが確認された。

③第 8 回専門医会学術集会について

石合専門医会学術集会会長から、第 8 回学術集会について報告があった。悪天候が影響し参加者が 450 人程度に留まったが、無事開催を終えたことについて謝辞が述べられた。

II. 重要審議事項

1) 平成 25 年度中間収支決算及び学術研究助成資産取崩しについて

水間理事長から、中間決算、平成 25 年度正味財産増減見込案について試算した結果、年度末時点で大幅な赤字を生じることとなり、現金の収支見込においても 11 月時点で資産取崩しを行う必要があるとの説明があった。審議の結果、財務委員会を立ち上げ、特に赤字の大きい会誌発行費を中心に再度赤字要因の分析を行い、次回役員会で再度審議することとした。また資産取崩しについては、当面当初予算で赤字を見込んだ額について取崩しを承認し、残りの取り崩しについては、今後の収支の推移をみて次回役員会で検討することとした。

さらに、役員会旅費の宿泊費について、宿泊実態によって支給するなど、経費の縮減を図っていくこ

とが確認された。

2) 50周年学術集会計報告について

川手50回学術集会計幹事から、学術集会計報告について説明があり、審議の結果、監事から、決算書については50周年記念事業のために会費増額した分の収支と50回学術集会計とは切り分けて出すこととなっていたとの指摘があり、次回役員会に改めて報告することとし、承認された。

3) 50周年記念事業会計報告

水間理事長から、50周年記念事業費収支決算報告について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された

Ⅲ. 審議事項

1) 50周年記念事業の経過及び今後の計画

水間理事長から、50周年記念事業企画の進捗状況について説明があった。審議の結果、次の事項が確認され、50周年記念事業企画案に盛り込むこととした。

- ① 地方会HPから一般向け情報発信については、関東地方会で50周年関連コンテンツを作成し、各地方会で活用
- ② 診療ガイドラインの公開では、連携パス、がんリハ、神経筋疾患、脳性麻痺のガイドラインを準備中
- ③ HPの用語集を一般に公開
- ④ リハの日については、関西開催も視野に引き続き準備を行う、設立50周年記念行事冠名使用許可事業について説明があり、了承された。

また、朝貝理事から、50周年記念企画として小児リハSIGの出版について提案があり、審議の結果、ガイドラインと同様の入札方式で進めることとした。

2) 国際シンポジウムの開催について

安保理事から席上配布資料に基づき、来年4月19日に開催される国際シンポジウムについて説明があった。また安保理事から、国際シンポジウムは初めての開催のため、単位申請について参加単位以外に教育講演取得単位を認められないか提案があり、審議の結果、講演時間を45分とし2つの講演で各10単位、合計30単位を認めることとした。

なお、国際シンポジウムの単位申請については、教育委員会において規定化を検討することとした。

3) 第51回学術集について

加賀谷第51回学術集会計幹事から、第51回学術集

会及び特別並行ポスターセッションの企画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4) ISPRM-ICF 翻訳作業について

水間理事長から、ICF Core Setの日本語化作業について説明があり、審議の結果、出江副理事長に翻訳メンバーの人選を一任し、原案どおり作業を進め、来春頃には終了させることとした。

5) 理事会の人事に関する内規(改正案)について

椿原副理事長から、理事会の人事に関する内規改正案の説明があった。審議の結果、内規の表題を「理事会の人事等に関する内規」に修正、信任投票において過半数を獲得できなかった場合の規定の検討、幹事の選出条項を、学術集会計幹事と事務局幹事を別に規定することなどについて検討し、再度提案することとした。また、事務局幹事の在り方について検討することとした。

6) 教育委員会内規(改正案)について

椿原副理事長から、教育委員会内規第1条の改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、この改正は定款施行細則の関連条項のみを規定するものであるため、会則検討委員会の審議は不要とした。

7) 代議員選挙に関する規則(改正案)について

上月理事から、会則検討委員会における検討内容について報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8) 代議員選挙に関する内規(改正案)について

上月理事から、会則検討委員会における検討内容について報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9) 各種委員会内規の改正について

上月理事から、定款施行細則が改正されたことに伴い各種委員会規則の第1条の改正を必要とするが、定款施行細則との関連条項のみ修正であるため、事務的に修正処理をしたいとの説明があり、審議の結果、承認された。

10) 医師以外の正会員の入会について

上月理事から、松尾浩一郎氏及び八木麻衣子氏の入会について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11) 医師以外の正会員の取扱いについて

水間理事長から、正会員以外の医師を増やす方策について、医師以外の正会員の認定に関する内規の見直しを検討している旨説明があり、審議の結果、

- 方針について了承され、意見があれば次回役員会までに事務局に申し出てもらい次回役員会に案を出すこととした。
- 12) 名誉会員・功労会員証について
水間理事長から、名誉会員証及び功労会員証を新たに製作することについて説明があり、審議の結果、製作を見送ることとした。なお、功労会員へは証書のみを送付とすることとした。
- 13) 会員の入退会について
水間理事長から、会員の入退会状況について説明があり、承認された。
- 14) 社会保険等委員会関係
石川理事及び水落理事から、厚労省保険局医療課への診療報酬改定要望書の提出及び内保連、がんのリハビリテーション研修会並びに社会保険等委員会について報告があり、承認された。なお、診療報酬改定要望に関しては意見があれば11月中に石川理事に申し出ることとした。
- 15) 心理職の国家資格化に関する賛同及び協力依頼について
朝貝理事から、一般財団法人日本心理研修センターから心理職の国家資格化に係る「試験・登録機関」に指定されることへの賛同及び協力依頼があった旨説明があった。審議の結果、日本心理研修センターの信頼性に疑義が出され、再度朝貝理事に他機関の状況について確認していただいたうえで、メール審議を行うこととした。
- 16) 未承認医療機器などの早期導入に対する報告と意見
朝貝理事から、関連機器委員会での検討状況について説明があった。関連機器委員会に2件の未承認医療機器が提出されたが、これらは主要諸外国においても承認されていないものであるため、今回は対象外とし、次回以降に向けて調査していくこととした。
- 17) 診療ガイドライン委員会 策定委員会の設置および運用について
生駒理事から、診療ガイドライン委員会策定委員会の設置および運用について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 18) がんのリハビリテーションガイドラインの医療情報サービス Minds への掲載について
生駒理事から、がんのリハビリテーションガイドラインを日本医療機能評価機構が同機関の医療情報サービス Minds に掲載したい旨の依頼があったことについて説明があり、審議の結果、承認された。
- 19) 資格認定委員会関係
①指導責任者の資格更新について
浅見理事から、指導責任者の新規認定(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 20) 施設認定委員会関係
①研修施設の新規認定について
田島理事から、研修施設の新規認定(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
②更新・年次報告による認定要件確認結果(案)について
田島理事から、研修施設更新・年次報告書による認定要件確認結果の案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
③施設規則の一部改正(案)について
田島理事から、研修施設の認定に関する内規の一部改正(案)及び研修施設の認定に関する申し合わせの一部改正(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、この改正は名称変更に伴う軽微な改正であるため、会則検討委員会での検討は省略することとした。
- 21) 専門医等情報データベース等作成事業（専認構）について
水間理事長から、日本専門医制評価・認定機構から「専門医等情報データベース等作成事業」への協力依頼があった旨説明があり、審議の結果、協力することが承認された。
- 22) 平成26年度病態別実践リハビリ医学研修会について
正門理事から、平成26年度病態別実践リハビリテーション医学研修会の開催計画案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 23) 平成26年度臨床研修医等医師向けリハビリ研修会について
石合理事から、平成26年度臨床研修医等医師向けリハビリ研修会の開催計画案について説明があり、審議の結果、予算を工夫し原案どおり実施することが承認された。
- 24) 2-f（初回）項目による生涯教育単位の申請について
正門理事から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。
- 25) その他
①日本整形外科学会学術総会プログラムアンケートについて
水間理事長から席上回覧資料に基づき、第88回

日本整形外科学会学術総会プログラムアンケートについて説明があり、テーマ案があれば事務局に提出することとした。

②後援・協賛について

水間理事長から、説明があり審議の結果、原案どおり承認された。

③平成 26 年度役員会日程及び会場(案)について

水間理事長から、平成 26 年度役員会の日程のうち 9 月開催日を 20 日から 27 日変更する修正案と会場について説明があり、会場については安価な会場を検討することとして、原案のとおり承認された。

IV. 報告事項

1) 各種委員会報告

平成 25 年 9 月 6 日から 11 月 16 日に開催された各種委員会について、次の通り各担当理事から報告があった。

- | | |
|----------------|------------|
| ① 編集委員会 | 水間理事長 |
| ② 評価・用語委員会 | 志波理事 |
| ③ 教育委員会 | 正門理事, 石合理事 |
| ④ 資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤ 施設認定委員会 | 田島理事 |
| ⑥ 試験委員会 | 白倉理事, 芳賀理事 |
| ⑦ 診療ガイドライン委員会 | 生駒理事 |
| ⑧ 障害保健福祉委員会 | 水落理事 |
| ⑨ 広報委員会 | 安保理事 |
| ⑩ データマネジメント委員会 | 赤居理事 |

2) 専門医会報告

幹事長欠席のため、次回役員会で報告することとした。

3) RJN 報告

浅見理事から、報告があった。

4) 平成 26 年度各種委員会活動計画・予算調書の提出について

水間理事長から、平成 26 年度各種委員会活動計画・予算調書について、計画の見直しも含め予算の縮減に配慮して提出していただきたい旨報告があった。

5) JIS の見直し調査について

朝貝理事から、日本規格協会から JIS の見直し調査依頼があり、利害関係者である日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会からの回答が来次第提出する旨報告があった。

6) 2-g, 2-f (2 回目以降) 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から、報告があった。

7) 平成 25 年度病態別実践リハ医学研修会報告

正門理事から、報告があった。

8) その他

①わが国の不正な臨床研究報告に関する日本医学会の見解

水間理事長から、報告があった。

②特定機能病院の承認要件見直し案について

白倉理事から報告があり、リハ科を入れるような働きかけをする必要があることから、厚労省の検討会メンバーに個別に接触してみることとした。

③木村監事から、ボトックス研究会を学会として立ち上げることとし、来年 9 月 19 日・20 日に東京で学会を開催することとした旨報告があり、協力の要請があった。

④佐浦理事から、9 月役員会で決定した海外研修助成対象者が助成を辞退した旨の報告があった。

⑤朝貝理事から、日本医療機能評価機構から産科医療保障制度のリハ医学会 HP 掲載などの協力に対する礼状が届いた旨報告があった。

⑥佐浦理事から、近畿地方会における市民公開講座の記事がメディカルトリビューン社のサイトに掲載された旨の報告および同サイトに掲載された記事は、アクセス数により評価されることから、リハ医学会のニュースや HP へ掲載して行きたい旨の報告があった。

⑦田島理事から、和歌山県立医科大学がかねてから申請をしていた障害者スポーツ医学研究拠点が文科省から認定されたことについて報告があり、リハ医学会としての協力で謝辞が述べられた。

以上